



ホ ン ダ フ ル
本 d e r f u l !
～ 自分 を 世界 を 未来 を 拓 く ～

<アクティブハイスクール事業は終了しましたが本校の特色として実施しています>

令和 3 年度(2021 年度) 本 derful! 講演会

『 緋色のマドンナ 』

*2021年12月16日(木)

講師：陶芸家

神山 清子 氏

対象：第1・2学年

担当：第1・2学年 本ダフル委員会

会場：野洲文化ホール(シライシアター野洲)



「緋色のマドンナ」「母さん、子守歌うたって」
(生徒各自が選書)を読み、講演していただきました



ドラマで使用された作品を持ってきてくださいました。

生徒の感想より

- ◇どんな状況でも前向きに生きることの大切さや、勇気を持って行動していくことの大切さを知りました。18日間も物を焼き続けるのはすごい労働力だなと驚きでした。
- ◇これまでの人生経験を聞かせていただいて、思いやりを持って人のためになることをしていこうと思いました。
- ◇戦後の生活がどれだけ大変だったかを知ることができました。今、元気よく生活できていることに感謝したいです。
- ◇毎日不自由なく暮らせていることは、とても幸せなことだと思いました。幸せに暮らせていることが当たり前だと思っていることが最近多いので、感謝しないといけないと思いました。
- ◇「好奇心を持っていろいろなことをしなさい」「自分を大切にしなさい」「他人を思いやれる人になりなさい」「私の父のように、学生時代に頑張って得た知識が子どもの役に立つかもしれないから、たくさん学びなさい」「SOSを出せるようになりなさい」これらの五つの言葉が響きました。この先の人生にも通じることだなと思い、忘れずに生きていきたい。
- ◇自分の人生は自分で切り拓いていくものだと改めて感じた。
- ◇読んだ本やドラマでは感じ取れなかった神山さんの人生や考え方を聴くことができ良かった。今の私たちにも当てはまる、ちょっとした勇気を私も出してみようと、話を聞いて思いました。
- ◇戦時中の人々の生活の苦しさについての話をたくさんされていて心が苦しくなった。また、女性陶芸家としての心構えなどを知って、僕もこれからぶつかるたくさんの壁を、好奇心を持って乗り越えていこうと思いました。勉強や部活のモチベーションが上がるととてもいい講演会でした。
- ◇戦時中は生きるのに必死で、今の僕の生活では考えられないくらいの大変なことがあったのだと思います。これから自分は、今生きていることはありがたいことだと思って生きていきたいです。
- ◇いつも今やっている勉強は何か将来役に立つのかなと思ってたけど、どこかで何かにつながってくるんだなと思った。新しいことをしようとするとき、勇気が必要だけど、その勇気を出すのが難しいと思ったし、それをできた神山さんはすごいと思った。残りの人生で困っている人の話を聞く（相談にのる）という人助けをしていきたいと思えるのはすごいなと思った。
- ◇とても感動しました！どれだけ過酷な中でも生きることを諦めない姿に感動しました。これからの自分の人生に少しでも参考にできるようにしたいです。
- ◇実際にスカーレットのモデルになった人の話を聞くことができ良い機会だった。神山さんは当時珍しかった女性の陶芸家としてたくさんの方に挑戦された経験から、私たちにも失敗を恐れることなく挑戦してほしいと言ってくださるのだなと思った。
- ◇たくさん苦勞があったとしても、色々なことに挑戦していくことが大切だと思いました。色々な経験をするのが自分にとって大きな財産になると思いました。
- ◇好奇心を持って、何事にも取り組んでいきたいと思いました。

- ◇厳しい人生を歩んでこられたはずなのに、ボランティア活動など他の人の役に立つようなことをされていてすごいと思った。「勇気が必要だ」とおっしゃっていて、自分も勇気をもった行動をしたいと思った。
- ◇講演を聞いて、誰かに支えてもらわないと一人では生きていけないということが心に残りました。私も支えてくれている家族に感謝しながら生きていこうと思いました。
- ◇「今の自分があるのは、支えてくださる人がいるから」という言葉がすごく印象に残りました。ありがとうと言ってもらえることを一つでも残すという生き方もカッコよくて、さすがだなと思いました。自分もその考え方で、これから生活で意識していきたいと思いました。
- ◇神山さんが言ったとおり、たくさん本を読みたいと思いました。自分ひとりで生きているのではないと理解し、周りの人に感謝しようと思った。自分のやりたいことに全力で取り組みたいと思った。
- ◇「人生はささやかな優しさで出来ている」という言葉が印象的でした。私も誰かからもらった親切を還元していける人になりたいです。
- ◇滅多に聞くことのできないお話を聞くことができ、大変良い機会だった。事前に神山さんについて調べて、神山さんに関する本を読んでおくと、より楽しんで話を聞くことができた。
- ◇朝ドラ「スカーレット」を見ていたからとても内容が理解しやすかった。ドラマに出てきていた陶器が置いてあって感動した。
- ◇本を読むことの大切さがわかった。たくさんの知識をつけることで自分の夢の幅もさらに広がるし、やりたいことをどんどん見つけていこうと思った。
- ◇たくさんの辛い過去の中で、前向きに生きる姿勢がすごくカッコいいと思ったし、夢に向かって諦めずに進んで行けば絶対に報われるということを学んだ
- ◇自分は一人で生きているわけではないから、感謝しながら生きていきたいと思った。私も誰かを支えられる、必要とされる人間になりたいと思った。
- ◇本を読む習慣がなかったけど、空いた時間に読みたいと思いました。
- ◇書くことが大事だと言われていたので、なんでも書き写していこうと思う。
- ◇本には書いていない内容も話してくださって、人生の先輩としてすごく尊敬できる方だなあと感じました。実際に陶器も見られて良かったです。
- ◇「人は一人で生きていけると思ったら大間違い」という言葉が特に印象に残りました。その言葉を聞いて改めて実感したので、周りへの感謝を忘れずに日々生活していきたいと思います。
- ◇修学旅行で行った佐世保があんなに世界的に有名だったなんて知らなかった。
- ◇スカーレットを見ていたので、実際のお話を聞いて、作り話ではなく本当にすごい人生を送ってこられたのだと思いました。
- ◇陶芸家になるまでのお話や、陶芸への思いを知ることができて良かったです。陶芸を作っている時間をとても楽しんでいるようなことが伝わってきました。
- ◇神山先生の話聞いて、「人との関係」「本を読むこと」の大切さを改めて感じた。